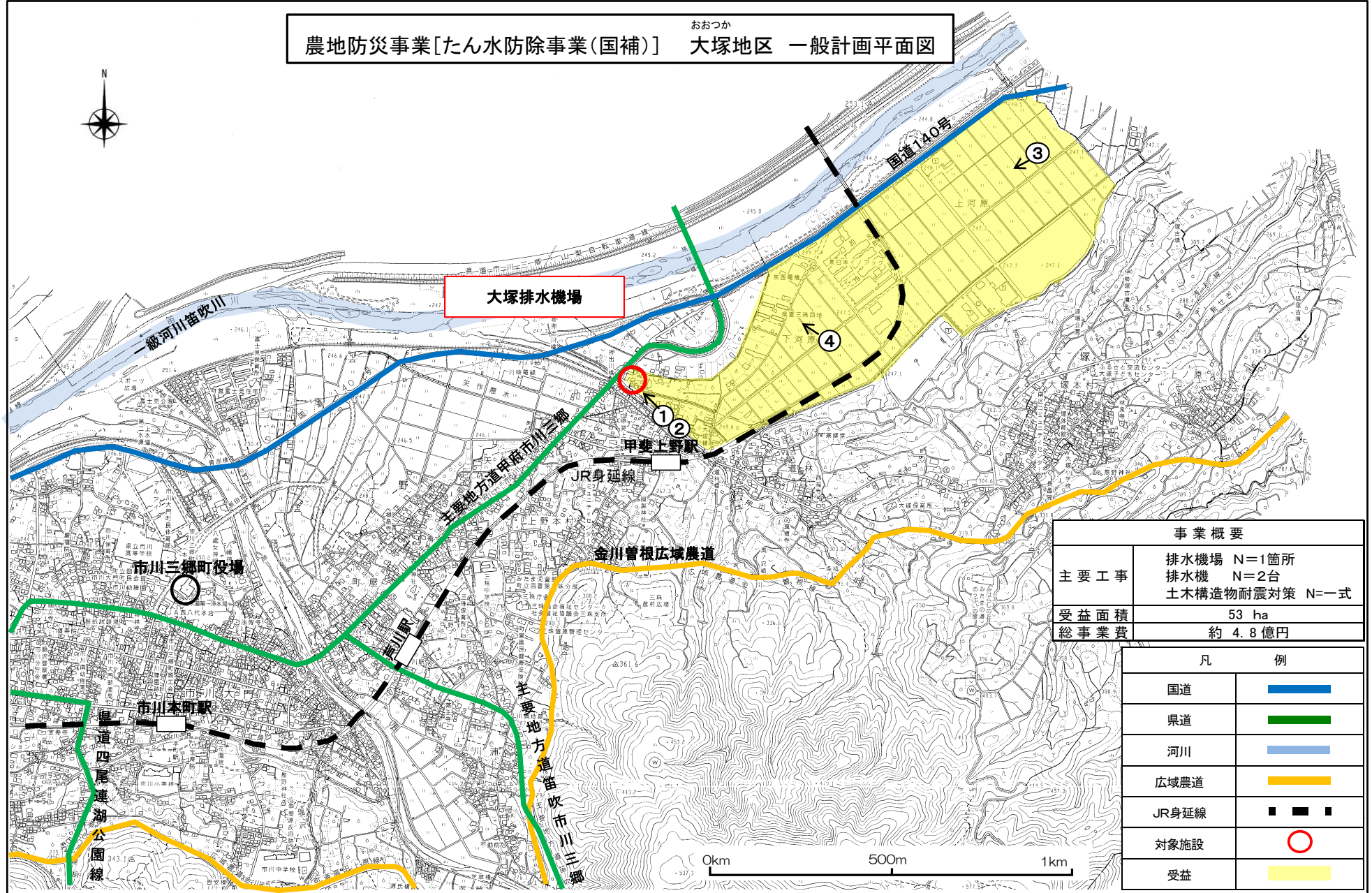


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	農地防災事業[たん水防除事業(国補)]	<b>事業箇所</b>	西八代郡市川三郷町大塚	<b>地区名</b>	おおつか 大塚	<b>事業主体</b>	山梨県																																	
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>																																				
<b>①課題・背景</b>				<b>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b>																																				
<p>本地区は市川三郷町北部の一級河川笛吹川左岸沿いの平坦な農村地域であり、笛吹川との高低差が少ないため、地区内の排水対策が極めて重要な地域である。</p> <p>しかしながら、大塚排水機場は竣工から40年以上が経過し、経年劣化によるポンプの故障が頻発しているとともに、現行基準での耐震性も有していないため、近年多発傾向にある集中豪雨に対する今後の排水対策に不安を抱えている。</p> <p>また、この地域は排水受益内にJR身延線や工業団地、人家に加え、国道など主要道路が存在することから、排水施設の脆弱化により洪水が発生した場合には、農地だけではなく公共財産等においても甚大な被害の発生が懸念される。</p> <p>このため、早期に対策を講じることで災害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図るものである。</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p style="text-align: center;"><input type="radio"/> <input type="radio"/></p> <p>・本事業は食料・農業・農村基本法に位置づけられている、農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資するものであり、行政が行うべきものである。</p>																																				
<b>②整備目標・効果</b>				<b>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)</b>																																				
<p>□主要目標 ○農業用排水能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設老朽度(使用年数44年)÷(耐用年数20年)=2.20≥1.00 ※</li> <li>・用排水能力向上率(計画排水能力3.5m<sup>3</sup>/s)÷(現況排水能力3.2m<sup>3</sup>/s)=1.1≥1.0※</li> </ul> <p style="text-align: right;">(※評価基準値)</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 ○農地の保全(農地の埋没の恐れあり) ○既存施設の崩壊危険性の排除(主体構造物である)</p>				<p>○ <input type="radio"/></p> <p>・土地改良法施行令第50条第1項1の5号により県が事業主体となって行うべきものである。</p>																																				
<b>(2) 整備内容</b>				<b>③経済妥当性</b>																																				
<b>①整備内容</b> 排水機場1箇所(土木構造物耐震対策)、排水機2台(更新整備)				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>480 百万円</td> <td>工期</td> <td>R6 ~ R9</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,777 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">3,579 百万円</td> </tr> <tr> <td>事業費用</td> <td>389 百万円</td> <td>災害防止効果</td> <td colspan="2">2,515 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他費用</td> <td>1388 百万円</td> <td>作物生産効果</td> <td colspan="2">1,093 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費節減効果</td> <td colspan="2">-29 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>費用便益比(B/C)は、1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p>				総事業費	480 百万円	工期	R6 ~ R9	基準年	R4	経済効率性	費用	1,777 百万円	便益	3,579 百万円		事業費用	389 百万円	災害防止効果	2,515 百万円		その他費用	1388 百万円	作物生産効果	1,093 百万円				維持管理費節減効果	-29 百万円			B/C	2.0			
総事業費	480 百万円	工期	R6 ~ R9	基準年	R4																																			
経済効率性	費用	1,777 百万円	便益	3,579 百万円																																				
	事業費用	389 百万円	災害防止効果	2,515 百万円																																				
	その他費用	1388 百万円	作物生産効果	1,093 百万円																																				
			維持管理費節減効果	-29 百万円																																				
	B/C	2.0																																						
<b>②着手年度</b> 令和6年度 <b>③完成見込年度</b> 令和9年度				<b>④事業実施・規模の妥当性</b>																																				
<b>④総事業費</b> 約480百万円 (国費264百万円(5.5/10) 県費153.6百万円(3.2/10) 町費62.4百万円(1.3/10))				<p>○ <input type="radio"/></p> <p>・災害に強い施設に改善する上で必要な整備量としている。</p>																																				
<b>⑤年度別の整備内容</b> (事業費)				<b>⑤整備手法の有効性</b>																																				
令和6年度 測量・設計 30 百万円				○ <input type="radio"/>																																				
令和7年度 排水機更新整備 210 百万円				・受益面積規模、事業対象工種から、たん水防除事業で対応することが妥当である。																																				
令和8年度 排水機更新整備 190 百万円				<b>⑥環境負荷等への配慮</b>																																				
令和9年度 土木構造物耐震対策・排水機更新整備 50 百万円				○ <input type="radio"/>																																				
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				・排水機の更新により排ガス等環境負荷軽減へ配慮したものである。																																				
<b>⑥既整備内容・期間・事業費</b>				<b>⑦事業計画の熟度</b>																																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名 湛水防除事業</li> <li>・整備内容 排水機場1箇所、排水機2台</li> <li>・整備期間 昭和49年~昭和53</li> <li>・総事業費 約30億円</li> </ul>				<p>○ <input type="radio"/></p> <p>・早期着工の要望有り</p>																																				
				<b>総合評価</b>																																				
				<b>[貢献度ランク: a]</b>																																				
				<b>(4) 事業位置図等</b>																																				
				<p>地理院地図(国土地理院)を加工して作成</p>																																				

農地防災事業[たん水防除事業(国補)] おおつか 大塚地区 一般計画平面図



事業概要	
主要工事	排水機場 N=1箇所 排水機 N=2台 土木構造物耐震対策 N=一式
受益面積	53 ha
総事業費	約 4.8 億円

凡	例
国道	
県道	
河川	
広域農道	
JR身延線	
対象施設	
受益	

## 2. 添付資料シート(2)



① 築造から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。



③ 近年、局地的な大雨が多発しているため、排水機場が正常に機能しないことにより、農地被害が発生するおそれがある。



② 老朽化による維持管理費が増大している。



④ 湛水想定範囲に農地や人家、JR身延線などがあり早急な対応が求められている